

精神医療センター《基本情報》

基本情報	平成20年度	平成21年度	平成22年度	収集期間	定義	備考
【入 院】						
稼働病床数	505	470	463 床	4月時点		実際に使用している入院ベッドの数です。(平成21年1月から470床)
延べ患者数	141,343	139,570	138,755 人	年度		1年間に入院した延べの入院患者数です。
1日平均入院患者数	387	382	380 人	年度	延べ患者数/365	
新入院患者数	615	675	782 人	年度	期間中の新規入院患者数	1年間に新規に入院した患者さんの数です。
退院患者数	613	704	764 人	年度	期間中の退院患者数	1年間に退院した患者さんの数です。
年齢階層別退院患者数(※1)			別紙1参照	年度	※退院時点の年齢で集計	退院患者さんの年齢の特徴を示します。
主要疾患別患者数(※2)			別紙2参照	年度	※原則としてICD3桁分類の上位20疾患とする	どのような病気を扱うかを示します。
疾病分類別患者数(※3)			別紙3参照	年度		
病床利用率	78.0	81.4	82.1 %	年度		入院病床が平均してどのくらい利用されているかという数字です。
平均在院日数	230.2	201.4	178.5 日	年度	$(延べ患者数 - 退院患者数) / (新入院患者数 + 退院患者数) \div 2$ ※平成21年度より算定式変更 (平成19年度、20年度は、延べ患者数 / (新入院患者数 + 退院患者数) $\div 2$)	急性疾患を取り扱うか、慢性疾患を取り扱うのか、病院の特徴を示す数字です。
病床回転率	1.2	1.5	1.7	年度	病床利用率/100) × 365 / 平均在院日数	空きベッドの数も考慮して計算された、入院ベッドの利用効率を示します。急性疾患あるいは慢性疾患という特徴を示します。
入院外来比率	41.2	41.4	42.0 %	年度	延べ外来患者数 / 延べ入院患者数 × 100	入院治療を中心とする病院か、外来を中心とするか、という指標です。
退院計画立案率	68.0	68.1	65.7 %	年度	退院計画立案件数 / 年間退院患者数(死亡患者を除く)	
退院サマリーの計画立案率	78.9	79.3	80.6 %	年度	担当医または看護師が2週間以内にサマリーを記載した件数 / 年間退院患者数(死亡患者を除く)	一定期間内に退院サマリーを作成することは、病院の医療の質を示す数字です。
【外 来】						
新外来患者数	2,045	2,173	1,615 人	年度	初診料を算定した外来患者数 + 他科の初診患者数(入院中の外来初診を含む)	1年間に新規に外来治療を行った患者さんの数です。
延べ患者数	58,269	57,751	58,234 人	年度		1年間に外来治療を行った延べの外来患者さんの数です。
平均通院回数	28.5	26.6	36.1 回	年度	延べ外来患者数 / 新外来患者数	
1日平均外来患者数	239.8	238.6	239.6 人	年度	延べ患者数 / 診療日数	
紹介率	29.0	29.5	45.8 %	年度		外来患者さんのうち、紹介されてこられる方の割合です。普段のかかりつけというような一次医療が中心か、専門的な病院か、という指標になります。
逆紹介率	23.8	23.7	34.0 %	年度		この病院から他病院等への紹介の割合です。
救急車搬送患者数	300	344	444 人	年度	・救急車で搬送された全ての患者で再診患者、外泊患者等を含む。 ・医療機関に所属する救急自動車(ドクターカー: 自院、他院を含む。)で搬送された患者も含む。	救急用自動車で搬送されてきた1年間の患者さんの数です。
初診予約率	31.5	35.5	44.3 %	年度	(本院における思春期外来及び一部一般外来並びに松心園のみ予約) (上記の患者のうち)予約があった初診患者数 / 初診患者数	外来の予約制がどの程度浸透しているかを示す指標です。

【死亡患者】

死亡退院数	3	8	12 人	年度		この病院での1年間の死亡の数です。
粗死亡率	0.49	1.14	1.57 %	年度	死亡患者数／退院患者数	この病院に入院した患者さんの死亡の割合です。高度な医療を提供する病院では重症の患者さんを取り扱うことも多いので、この数字は高くなります。
精死亡率	0.49	0.99	1.44 %	年度	全死亡患者数－入院後48時間以内死亡／退院患者数	入院して48時間以内の死亡は、病院内での診療を反映しないことが多いので、この死亡を除いた上での死亡率です。しかしながら、上記と同様に、高度な医療を提供する病院では重症の患者さんが増え、死亡率が高くなる傾向もあるため、必ずしも病院の診療レベルは反映しません。

【医療安全】

医療事故発生件数	17	23	27 件	年度	公表基準による医療事故(レベル3b以上)の年間件数 レベル3b:濃厚な処置や治療を要した事例 レベル4:患者に永続的な障害が残った事例 レベル5:死亡(原疾患の自然経過によるものを除く。)	医療事故をしっかりと把握し、その年間での件数を示します。
退院患者中の褥瘡(Ⅱ度以上)の院内発赤率	0.005	0.005	0.006 %	年度	褥瘡対策に関する治療計画(院内発生)にてNPUAPの分類にてStageⅡ以上、若しくはDESIGN評価票にてd2以上の褥瘡を有する患者/延入院患者数	医療機関で褥瘡対策が行われており、日常生活の自立度の低い入院患者に一律に褥瘡に関する危険因子の評価が実施されていることを表します。
病院職員のインフルエンザワクチン接種率	66	66.2	72.7 %	年度	当センターでのインフルエンザワクチン予防接種者数/職員数(4月時点)	
職員の健診受診率	99	99	99 %	年度	事業所健診の受診者数/健診対象者職員数(4月時点)	
入院患者の転倒・転落率	0.2	0.22	0.22 %	年度	期間中に発生した転倒・転落件数/入院患者延べ数×100	

【その他】

研修医受入れ人数	3.5	2.2	2.1 人	年度	各月1日における人数の平均 <協力型臨床研修病院>	病院として、医師の教育に積極的に取り組んでいるかを示します。
指導医数	10	10	10 人	4月現在	※指導医は、臨床研修病院の基準にあるように、5年以上の臨床経験を有するものであって、プライマリケアを中心とした指導を行うことができる経験及び能力を有している者(H20. 4月現在届出数)	
医療相談件数	6,378	6,125	7,646 件	年度	医療相談室等で受けた相談件数(医療相談の専任者が実施する場合を含む)	社会財政面での患者さんの支援の体制を示しています。
医療相談件数のうち医療ソーシャルワーカーが受けた件数	6,378	6,125	7,646 件	年度		
患者対看護職員数	15対1	15対1	15対1	年度	看護体制(精神病棟)	看護体制の充実度を示します。
訪問看護の実施件数	4,064	4,651	4,693 人	年度	精神科訪問看護・指導料算定患者数	通院患者さんを対象に主治医の指示・指導の下に在宅での安定した社会生活を支えるため、住居等を訪問した回数です。
院外処方箋率	2.9	58.9	91.4 %	年度	院外処方箋枚数/外来処方箋枚数	医薬分業に積極的に取り組んでいるかを示しますが、まれな疾患にしか使わない薬を多く処方される病院もあります。
診療情報の開示件数	3	0	4 件	年度	年間の総開示件数	患者さんからの診療情報請求に応じて開示した数です。
クリニカルパス種類数	1	1	1 種	年度	統合失調症パス	これまで実施してきた薬物パス、急性期症状型パスを統合失調症パスに集約しました。
CT撮影件数	467	771	916 件	年度		

※1 年齢階層別退院患者数

(H22年度)

精神医療センター

年齢階層	退院患者数	(うち死亡患者数)
28日未満	0	
1歳未満	0	
10歳未満	24	
20歳未満	96	
30歳未満	117	
40歳未満	161	
50歳未満	158	1
60歳未満	75	3
70歳未満	89	6
80歳未満	36	1
80歳以上	8	1

※期間中の退院患者 764 12

※年齢は退院時年齢による

※2 主要疾患別退院患者数

精神医療センター

病 名	
F0 症状性を含む器質性精神障害	26
F1 精神作用物質使用による精神および行動の障害	118
F2 統合失調症、統合失調症型障害および妄想障害	368
F3 気分(感情)障害	86
F4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	42
F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	9
F6 成人のパーソナリティおよび行動の障害	16
F7 精神遅滞(知的障害)	17
F8 心理的発達の障害	62
F9 小児期および青年期に通常発症する行動及び情緒の障害、特定不能の精神障害	16
G4 てんかん	4
合計	764

※3 疾病分類別患者数・平均在院日数

精神医療センター

	分 類	患 者 数	平 均 在 院 日 数
I	精神及び行動の障害	764	178.5
II			
III			
IV			
V			
VI			
VII			
VIII			
IX			
X			
X I			
X II			
X III			
X IV			
X V			
X VI			
X VII			
X VIII			
X IX			
X X			
X X I			